仕様

項目		内容					
入力電圧クラス		三相200Vクラス					
適用モータ出力		0.1kW	0.2kW	0.4kW	0.75kW	1.5kW	2.2kW
機器定格	型式	VF-nC3M					
		2001PY-A30	2002PY-A30	2004PY-A30	2007PY-A30	2015PY-A30	2022PY-A30
	定格入力電流(A)(注1)	1.2	2	3.6	6.3	11.1	14.9
		(0.6)	(0.9)	(1.8)	(3.5)	(6.6)	(9.3)
	出力容量(kVA)(注2)	0.3	0.6	1.0	1.6	2.9	3.9
	定格出力電流(A)(注3)	0.7	1.4	2.4	4.2	7.5	10.0
		(0.7)	(1.4)	(2.4)	(3.6)	(7.5)	(8.5)
	出力電圧(注4)	三相200～240V (注5)					
	過負荷電流定格	150%−1分					
電源	電圧・周波数	三相200～240V−50Hz/60Hz (注5)					
	許容変動	電圧170V～264V (注6)、周波数±5%					
	所用電源容量(kVA) (注7)	0.5	0.8	1.4	2.5	4.3	5.7
保護構造		IP20					
冷却構造		自冷				強制風冷	
塗色		JIS相当色 10B　2.5/1 (注8)					
内蔵フィルタ		—					
環境	周囲温度	−10～60℃ (注9) (注10)					
	相対湿度	5%～95%(結露および蒸気の無いこと)					
	標高	3000m以下(1000mを越える場合は電流低減が必要)					
	設置環境	屋内、直射日光や腐食性ガス、爆発性ガス、可燃性ガス、オイルミスト、じんあい等のないこと					
	振動	5.9m/s^2 (0.6G)以下(10～55Hz)					
	VF-nC3MインバータとIPMギアモータ間の配線距離(注11、12)	50m以内					

注1. 定格入力電流は、リアクトルなしの場合の値です。直流リアクトルありの場合、定格入力電流は(　)内の値となります。
　　なお、定格入力電流の値は、電源トランス、入力側リアクトル、配線条件を含む電源側のインピーダンスによって変動します。
注2. 定格出力容量は、出力電圧が220Vの場合を示します。
注3. PWMキャリア周波数が4kHz以下の場合の値です。5kHz～12kHzの場合、定格出力電流は(　)内の値となります。
　　13kHz以上はさらに低減が必要となります。なお、PWMキャリア周波数の標準出荷時設定は、12kHzです。
注4. 最大出力電圧は、入力電源電圧と同じになります。
注5. IPMギアモータのモータ部の電源電圧定格は200～230Vです。240Vでのご使用はお問合せください。
注6. 連続使用(100%負荷)時は、±10%となります。
注7. 所用電源容量は、電源側インピーダンス(入力リアクトルや電線を含む)の値によって変動します。
注8. 実装色は、RAL7016(ドイツ規格)です。表中はJIS表示記号で相当色を示しています。
注9. 周囲温度が40℃を越える場合：上部注意銘板(シール)を取り外して、さらに定格出力電流を低減して使用してください。
注10. サイド・バイ・サイド設置(密着設置)をする場合、上部注意銘板(シール)を取り外して使用してください。
　　ただし、周囲温度が40℃を超える場合、上部注意銘板(シール)を取り外して、さらに定格出力電流を低減して使用してください。
注11. シールドケーブルは使用しないでください。ノイズ対策などでシールドケーブルを使用したい場合はお問合わせください。
　　また、ラジオノイズ低減用で零相リアクトルを使用する場合は、各相のリアクトルへの巻数は4回以下としてください。
注12. 配線距離が30mを超える場合は「PWMキャリア周波数(パラメータF300)」を4kHzに設定してください。